

# ひめだ高宏ニュース

No.1225

18.11.13

みなさんの願いをまっすぐ市政に届けます!

## 国民健康保険料引き下げを

二月一日、日本共産党は「高すぎる国民健康保険料(税)を引き下げ、住民と医療保険制度を守りま

す」を発表しました。高すぎる国民健康保険料(税)が国民健康保険の持続的な危機となり、医療保険制度としての持続性を揺るがしてしまっています。所得は低いのに保険料は高すぎる。この不公平をたすのは政治の責任です。日本共産党の提案をご紹介します。

1. 高すぎる国民健康保険料(税)を「協会けんぽ」並みに引き下げる

(1)全国知事会なども強く要望している公費の投入で保険料(税)を引き上げます

— 全国知事会は、国民健康

保険料(税)を「協会けんぽ」の保険料並みに引き下げるとともに、一兆円の公費負担増を政府に要請しました(2014年)。日本共産党も賛成です。

— 国民健康保険への公費負担

は、国と都道府県で4・0兆円、そのうち国が75%、都道府県が25%負担しています。これを一兆円増やせば、国民健康保険料(税)を協会けんぽ並みに引き下げることができます。財政力の弱い県には交付税措置などを検討します。

(2)「人頭税」と同じ「均等割」「平等割(世帯割)」「均等割」を廃止し、国民健康保険料(税)を協会けんぽ並みに引き下げさせていただきます

2. 国による保険料の免除制度をつくる

— 困った人を助ける国民健康保険料(税)を免除し、その費用は

国庫で補う国の制度をつくります。

3. 無条件な保険証取り上げや強制的な押し付けをやめる

— 保険証取り上げの制裁

措置を規定した国民健康保険法第9条を改正し、保険証の取り上げをやめます。

— 強制的な取り立てを奨励する国の行政指導をやめます。

思いません。

## 今週のフワ〜の人々

先日行われたフィギュアスケートNHK杯で男子は宇野昌磨選手、女子は紀平梨花選手がそれぞれ初優勝。スポーツ界にも次々と新しい才能が出てくるのです。私は20歳頃に何度かアイススケート場に行ったことがあります。ですが、よちよち歩き程度です。すべった記憶がありません。そんな私から見ればジャンプや回転など、とても人間業とは思

えません。

フィギュアスケートの華麗な回転を見たあとで国会議長の二転三転の二転三転を見ることがあります。ホラホラに「何だか」といいます。

岸田五輪担当大臣の通話があった。なかつた発言が山形地方創生担当大臣の収支報告書手続の問題などです。こんな方々を大臣にした安倍首相は任命責任に関して今回も得意のステップで逃げますか?



ひめだ高宏

## フワ〜の人々

<1008>



— 高齢者の生活状態をよく聞いて親身に対応する相談・収納活動に転換します。

4. 安倍政権による「国保都道府県化」を利用したさらなる保険料値上げを許さない

— 「国保の都道府県化」による国保料（税）引き上げに断固反対し、改悪を中止・撤回させます。

— 住民の生活破壊をいとめ、国保危機の加速をためるため、自治体独自の負

担軽減の取組を維持・拡充するために力を尽くします。

高すぎる国保料 協会けんぽとの比較

	和歌山市国保	協会けんぽ 保険料
総年収 400万円 30歳代の夫婦、子ども2人の4人家族	437,200円	205,600円
年収 240万円 単身 20歳代	201,200円	120,900円

- ・30歳代なので介護保険料はなし
- ・協会けんぽは本人負担保険料

「国保の都道府県化」  
松坂みち子

松坂みち子（県議予定候補）

沖繩本島最北端の辺り岬には「祖国復帰闘争碑」があり「全国のもっと全世界の友人へ贈る」という文が彫られています。

1972年5月15日、沖

繩の祖国復帰は実現しましたが、それは県民が求めていた復帰ではありませんでした。収容所に入水されていた間に米軍に奪われた土地は戻らず、基地は存在し続け軍事強化されました。

「しかるが故にこの碑は喜びを表明するためにあるものでもなく、ましてや勝利



松坂みち子  
(県議予定候補)

を記念するためにあるものでもない。闘いを繰り返り大衆が信じない、自らの力を確め合い決意を新たにしようとしたからこそあり。沖繩のたたかいは今なお続いています。

市の催しのご案内です。

WAKAYAMA  
Shohko-Sei

**食祭**

入場無料

11月23日 (金) 祝

10時～16時

和歌山城のりくお城

和歌山市の食を味わうイベント。約40店舗。

グルメ対決「WAKA-1グランプリ」グルメ投票やアンケート回答で抽選により和歌山物産プレゼント!!

主催：和歌山県「食」のイベント実行委員会（和歌山市等）

潮流

（18.11.10日刊）  
（18.11.10日刊）  
（18.11.10日刊）

例外「が」が常態になっ...  
す。安倍政権が2030年  
度の電力構成で22%を  
原発で賄うという目標を後  
押ししている形です。福島  
原発事故を忘れたかのよう  
です。▼福島県に毎月通い、  
ボランティヤで被災者の相  
談に乗り調査活動をしてい  
る放射線防護学の専門家、  
安斎育郎さん。福島に通う  
につけ原発は廃絶以外にな  
いと語り続けている安斎さ  
んが、先週の話。11月締  
めくくりました▼原発が事  
故を起せばなだたら、そ  
うでなくとも何万年にもわ  
たつ管理が必要「核の  
ゴミ」を未来の世代に押し  
つける。彼らには現代の原  
発について多くの選択権も  
ない。私たちは「未来世代  
の人々から意思決定を委託  
されている。慎重に行動し  
なければなりません」と。

東海第2も認めました▼

▼「原則40年」は福島原発  
事故後に法律に盛り込まれ  
た規定。最大20年の期間延  
長もできるとされましたが、  
政府は「例外」といいまし  
た。ところが審査を担当す  
る原子力規制委員会は、こ  
れまで関西電力から申請が  
あったら審査の延長を認め、

東海第2も認めました▼

東海第2も認めました▼

赤旗  
日刊 3,497円/月  
日曜版 800円/月